

I. 調査の概要

1. 調査目的

子どもの生活状況及び生活環境や家計状況などの実態を調査し、未来ある子どもたちが将来にわたって、安心して豊かな生活を送ることができるようにするため。

2. 調査対象及び調査方法

(1)調査対象

- ・小学生 : 低学年と高学年のそれぞれ中間の年齢。
- ・中学生、高校生 : 入学、卒業や受験といった時期から少し間があり、保護者も比較的客観的に子どもの生活環境などについて振り返ることができる、中間の年齢。

※調査対象等については、昨年、北海道で実施した「北海道子どもの生活実態調査」を参考としている。

(2)対象学年

- ・小学2年生の保護者、小学5年生の保護者・子ども、中学2年生の保護者・子ども
- ・高校2年生の保護者・子ども

(3)調査方法

- ・無記名によるアンケート方式で実施
- ・保護者及び子どもが記載した調査票は、記入後、それぞれの回収用封筒に入れ、封をして学校に提出
- ・市内小・中・高等学校の学校の協力を得て、調査票を配布・回収

3. 実施時期

平成29年7月

4. 調査内容

- ・保護者 : 健康状態、就労状況、収入、現在の暮らし、制度の利用状況 等
- ・子ども : 健康状態、生活習慣、学習、将来 等

5. 調査票の回収状況

調査対象		配布件数 (件)	有効回答数 (件)	有効回答率 (率)
小学2年生	保護者	170	98	57.6
小学5年生	保護者	414	223	53.9

中学2年生	子ども	414	219	52.9
高校2年生	保護者	211	68	32.2
	子ども	211	68	32.2
合計	保護者	795	389	48.9
	子ども	625	287	45.9

6. 集計方法

- ・結果数値(%)は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、内数の計が合計に一致しない場合がある。
- ・集計上、未記入等不明分を除いた回収数を記載している。
- ・複数回答の項目における割合(%)については、対象回答数を分母として集計している。